



〒211-0035 神奈川県川崎市中原区井田3-10-31(公財)現代人形劇センター

TEL: 044-777-2228 / FAX: 044-777-3570

E-mail : deaf@puppet.or.jp / URL: http://deaf.puppet.or.jp/

日々制作...

同誌



by 大里千尋

「手話言語条例の地で」 by 大木翔吾

みなさん、こんにちは。
私がデフ・パペットシアター・ひとみに入ってから11月でちょうどまる2年がたとうとして
います。

入ってすぐ東日本大震災の支援公演の担当になり、数は少ないですが被災地に
伺いました。

劇団内でも、結成からお世話になっている実行委員の皆さんに何か出来ることは
ないだろうか、とたくさん話し合いました。

たくさん、たくさん考え、でもやはり私たちは人形劇を観ている間だけでも笑顔になる
時間を作ることしか出来ないね、と歯がゆく感じていました。

そんな中、2012年7月に、岩手県陸前高田市の支援公演に呼んでいただきました
。その時に、役者の一人が「帰りに名取市に寄ることは出来ないかなあ?」と相談に
きました。

入って間もなく、実行委員会の皆さんとの繋がりをまだあまり理解していなかった
私は、メンバーから、名取実行委員会の皆さんとの歴史や、津波の被害が大きかった
閑上地区にご自宅がある実行委員の方がいらっしゃること、その皆さんに元気に
なってほしいということを知りました。

震災からまだ1年しか経っていませんので、支援公演にしても、受け入れていた
だけのお時間が皆さんにあるかどうか…、逆に迷惑をかけてしまうのではないかと…
。と思いながらも、名取の実行委員会の方に支援公演のお話しのお電話をしました。

いきなりのお話しにも関わらず、とても快く受け入れてくださり、公演の当日は、手
作りの看板、美味しいお食事、幻のお酒、何より皆さんの笑顔に私たちがの方が元氣
をもらいました。

その時に実行委員会の方の一人から「今すぐに、また呼ぶのは難しいけれど、今
までみたいにまたデフパペを呼んで、その時間を仲間との再会と新たな繋がりをつ
くる場にしたいと思っているから。」とお話いただき、またの再会を約束しました。

秋になりそろそろ来年度の公演予定地を、と考える中で、今東北での公演はどの
うだろうか、チケットにお金を払って観る公演は難しいのだろうか、現地の声を聴い
てみたいと思い、名取に電話をしました。

その中で、「そろそろ電話しようと思っていたんだ。」と第一声をいただき、そのまま
トントン…と来年の9月20日(土)に公演をすることが決まりました。

まだまだ復興が続く大変な中ですが、デフ・パペットシアター・ひとみの人形劇が、
地域の元気に繋がることができたら嬉しく思います。

欲張るわけではないですが、
これからも私たちの人形劇が、地域で人と人が繋がるきっかけに。
新しいことに挑戦してみよう!と思えるきっかけに。

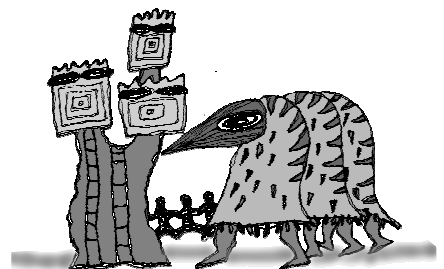
皆様の笑顔の中に少しでもいることが出来るよう、活動を続けてまいります。

10月8日、九州へ出張中だった。
夜、外は雨。宿で雑務をこなしている時に、小さな地震。
気づかない人もいただろうなと思うぐらいの、小さな地震。
自宅にいても自主的にテレビを見ることはほとんどないが、
なんとなく、なんとなく気になってテレビをつけた。ちょうど
『手話ニュース845』の時間。「本日、鳥取県本議会におい
て『鳥取県手話言語条例』が全会一致で可決しました。」決
定を喜ぶ傍聴(見?)席。見知った顔も何人か、いる。映像か
らだけ、溢れ出る“熱”を感じた。

今月、鳥取・島根両県での公演ツアーをやらせてもらっ
た。それぞれの地の、それぞれの人の、“熱”。倉吉市公演
のその日、客席には倉吉市長と、鳥取県知事の姿。

聴者、31歳。世代として、社会を変えていく“運動”とい
うものが実感として、無かった。生まれも育ちも横浜で、社会
に何の不自由も感じなかった。手話の存在は小学校の授
業で知った。テレビで手話通訳を見たことがある。デフパペ
に入ってから、手話を始めた。やっと、2年と少し。

今、私達は大きな“熱”の流れの中にいる。
そして、より多くの人に“熱”を伝えることができるのは、
私であり、デフパペなんだ、と強く感じている。



デフ・パペットシアター・ひとみ

やなせけいこ 榎本トオル 大木翔吾
善岡修 鈴木文 大里千尋
牧野英玄

3ヶ月に一度のこんにちわ

君(指差し)
手話(名前の手話)
これ(鼻の横に人差し指を置いて上下に動かす)
手話(ぼくの名前?)

by 榎本トオル



手話を見たのも、手話で話したのも、
初めて話したのも、ぼくが小学生だった。
ぼくがろう学校に転校したときだ。
教えてくれた言葉は、ぼくの名前の手話だった。

そしてみんなの名前を覚えた。
みんなの手話の名前があるんだ。
わからないことがわかるようになった。

字を書くのも、話するのも、数えるのも、考えるのも、覚えるのも、
手話を話してから、できるようになった。
小学生の時からずーっと手話で話した。
手話はダメと言われた時も、手話でずーっと話した。
みんなが呼んでくれた。ぼくの名前を。

手話を知る前は、自分だけわからないのは不思議に思った。
どうして、みんな、パクパクわかる?
書いたり、答えたり、なんでわかる?
手話を知って、ああ…そうだったんだ。
ぼく、聞こえないんだ。

デフパペに入って夢をかなえた。
ろう学校で公演ができたこと。
子どもたちが、人形劇を観て交流することが楽しみだ。

今…手話は言語であると認められはじめました。
先日、倉吉未来中心での森旅の公演に鳥取県の知事さんが視察に来ました。
終演後は、知事さんと実行委員さんと一緒に、鳥取県手話言語条例の制定を
喜びました。手話言語をもっと全国にも広めたいと思います。国が手話を
言語として認めて欲しいと思います。

東京オリンピックでは手話があたりまえになる夢を見ました。

★「森旅」新キャスト紹介★

皆さん初めまして！10月の公演から「森と夜と世界の果てへの旅」に参加
します、末永快(すえなが かい)と申します。

デフ・パペでのお芝居は人形遣いだけでなく、セリフの無い動作のみでの
芝居や、舞台上での手話の使い方など勉強する事が盛り沢山で日々悪戦
苦闘しております(笑)

さて、旅公演は、今回の11月の山陰ツアーが初参加でした。元々あまり関
東圏から出た事が無い私には旅の全てが新鮮でしたが、何よりも実行委員
会の方々との繋がり深さに驚きました。聞けば数十年のお付き合いと
なる方々も少なくなく、中には幼少期から参加して下さってる方もいらっし
や、この劇団の歴史の深さに感動と若干の懐きを覚えました。

伝統ある劇団を私の生半可な演技で台無しにしてしまっは大変ですの
で、皆様から頂いた笑顔と言葉を胸に焼き付け、より一層良いお芝居をご
覧頂ける様、これからも稽古に励んで行こうと心に誓う。そんな旅でした。

「森旅」で、私は実は「世界で一番美しい男」の人形が気に入っておりま
す。詳しい内容は省略致しますが、あの人形は足の間接が非常によく出来
ており、足を曲げた際の太腿～膝頭のラインがとても見事に表現されてい
るのです。芝居の内容や舞台美術は勿論ですが、人形と道具の動きの美しさ
と言うのも今回のお芝居の見所であるかと思えます。これからご覧になる方
も、既に観た方も、次回ご来場の際はそう言った部分にも目を光らせて頂け
ると一味違った楽しみ方が出来るかと思えます。

最後に余談ではありますが、私自身は劇人形の製作の勉強も密に行っ
てたりします。いつの日か私が作った人形で皆様に会いに行けたら、私的
には最高です(笑)

そんな私、末永快。

今後も末永いお付き合いをどうぞよろしくお願い致します。

公演スケジュール

12月～2014年3月(11月25日現在)

「森と夜と世界の果てへの旅」

2014年1月14日(火) 長崎県壱岐市
壱岐西部開発総合センター (開演19:00)
1月19日(日) 鹿児島熊毛郡屋久島町
屋久島町総合センター (開演14:00)

2014年3月28日～30日 横浜公演決定!

会場: KAAT 神奈川県芸術劇場 <大スタジオ>

28日(金) 14:00 / 19:00

29日(土) 14:00

30日(日) 14:00

全席自由 3,000円(税込)

※こども(中学生以下)2,000円(税込) <当日各500円増>

「稲むらの火」

★12月7日(土) 東京都立立川ろう学校
★12月17日(火) 杉並区立杉並第十小学校
★2014年2月6日(木) 目黒区立向原小学校
★2月13日(木) 葛飾区立堀切小学校

★は学校公演です。
観劇ご希望の方は
デフパペ事務所迄
ご連絡下さい。

2014年2月11日(火・祝) 鎌倉市鎌倉生涯学習センター(開演14:00)
入場料: 無料
お申込み: 鎌倉YMCA TEL 0467-24-7859/FAX 0467-24-7882

2月16日(日) 横浜市 横浜ラポール(開演14:00)
入場料: 500円(小学生以上)
お申込み: TEL 045-475-2055/FAX 045-475-2043

※2月11日・16日の公演は、事前にお申し込みをお願い致します。

「演目未定」

2014年1月23日(木) 静岡県龍ヶ崎市

「人形劇作りワークショップ(やなせ・榎本・牧野)」

★12月5日(木) 立川ろう学校 ※キリン福祉財団助成

「ワークショップ(善岡)」

2014年1月29日(水) 富士吉田市

追加・変更される場合もありますので、詳しくは
デフパペ事務所にお問い合わせ下さい。

★★お知らせ★★

ひとみ座創立から多くの人形を生み出した片岡昌さん
が、今年7月28日、81才で逝去しました。デフパペの作品
の人形美術のほとんどが片岡さんのデザインによるもの
です。片岡さんを偲んで下記のように会を催します。

AKIRAのひとみ一片岡昌を偲ぶ4days-

2月 8日(土)15時～16時 「ひよこりひょうたん島を語る会」

2月 9日(日)14時～15時30分 「劇人形について語る会」

2月15日(土)14時～15時30分

「片岡はジャズが好きだったトークと演奏」

2月16日(日)14時～15時30分

「片岡昌 夢の続き一劇人形以外の美術作品について」

会場: ひとみ座

会費: 無料

主催: 人形劇団ひとみ座

お問合せ: TEL 044-777-2222(平日10時～18時)

人形展示や関係者によるトークがあります。

詳しくはひとみ座ホームページをご覧ください。デフパペのホーム
ページからもリンク出来ます。